

一般質問



質問の主な項目

- ・ 生成AIについて
- ・ 家庭ごみの処分について



Q 公職選挙法では候補者の選挙運動に係る経費負担をできるだけ軽減することにより立候補の機会均等を図る手段として「選挙公営」制度を設けている。本市でも実施すべきと考えるが、市の見解は。

A 本市では選挙運動用通常葉書について公費負担を行っていますが、選挙運動用ポスターの作成及び選挙運動用ピラの作成については条例を制定していないことから、公費負担は行っておりません。

しかし、誰もが立候補しやすい環境を整備することは必要であり、他自治体の状況等も研究しながら選挙公営の実現に向けて取り組んでいきます。

(選挙管理委員会事務局長)

選挙公営の実施を



わかすぎ てるひさ
若杉 輝久 議員
公明党議員会



質問の様子は
こちら！

公共施設等へ 電気自動車充電設備の設置を

Q 近年、環境への配慮等により電気自動車の普及が進んでいる。公共施設等への充電設備整備について市の見解は。

A 充電設備の設置については電気自動車の普及に欠かせないインフラ整備であり、利用環境の向上において有効であると認識しています。

ただし、充電設備の導入経費が課題となることから、積極的な国の補助制度の活用と充電設備メーカーとの連携により経費を抑えつつ、およそ50基を目標とし、公共施設を中心とした充電設備の設置を進めていきます。

(市長)

さかいで大橋まつり 海上花火大会の警備の充実



とりかい ゆい
鳥飼 由衣 議員
政志会



質問の様子は
こちら！

しごとコンビニの取組実施を

Q 中央ふ頭会場や駅までの南北道路など、混雑が予想される場所の警備体制は5年前の花火大会と比べて充実しているか。

A 平成30年の警備体制を参考にしながら関係機関と協議を進めています。中央ふ頭に関係機関の合同指揮本部を設置し、連携して対処することで迅速かつ的確に行動できる体制を整えています。

これまでの花火大会よりも規模が大きくなり、警備体制や警備資材について、当初の見込み以上に充実させる必要が生じていることから、さらに安全な花火大会にするためにも、予算の枠にとらわれることなく警備体制を整備していきます。

(市長)

Q 働く場所を求める子育て中の保護者と任せたい仕事がある企業をつなぐ「しごとコンビニ」事業は子育て世代に選ばれるまちづくりに向けての選択肢の一つになると考えるが、市の見解は。

A 仕事と働き手のマッチングを中間事業者が行うというビジネスモデルを実施するためには、事前に双方におけるニーズの調査や仕事の掘り起こしも必要であると考えています。また、継続的に運営していくためには将来的に自立した採算が見込めることも必要となります。今後、先進事例の状況や国、県等の支援体制等も含め情報収集していきます。

(建設経済部長)

